

ファイル/フォルダー・ツリー探索プログラム

作成 2023-04-16

1. はじめに

このプログラムはファイル/フォルダーのツリー構造を Excel あるいは Calc シートに展開するプログラムです。フォルダー構造が煩雑になったとき、ツリーを探索しファイルの存在を効率良く確認整理するために使用します。ファイル、フォルダーが即座に閲覧可能にする。そして、ファイル/フォルダー構造を年度管理する目的で開発しました。

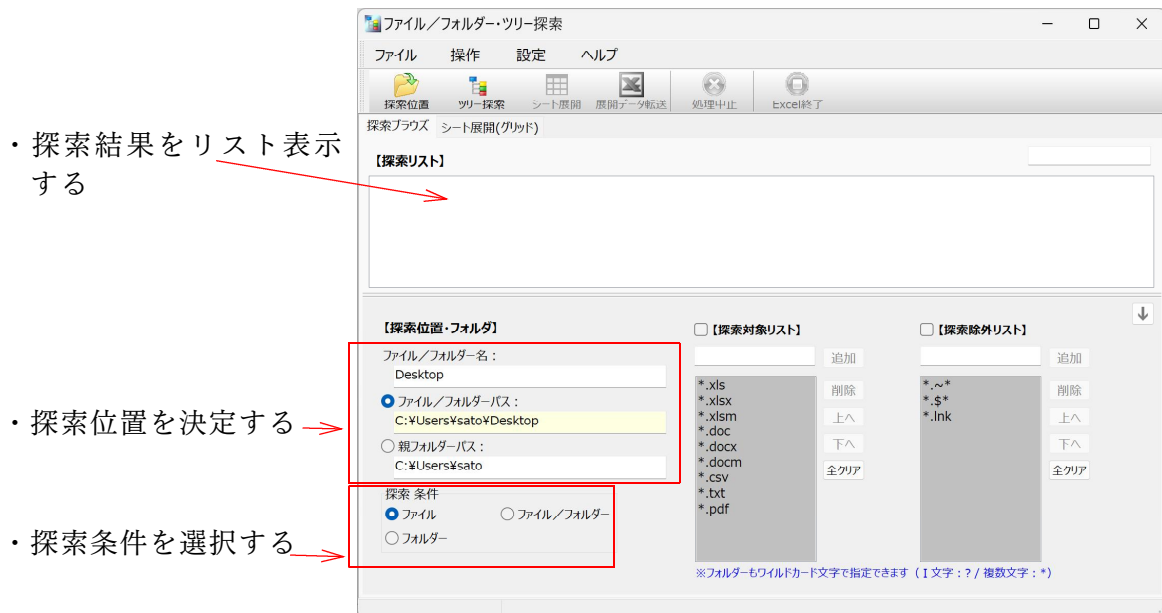
そのためファイル/フォルダーのハイパーリンク設定を可能にしました。リンクは絶対パス、相対パスのどちらかを選択でき、管理方法によってどちらかを選択します。

(注)相対パスは探索基準位置の親フォルダーです。展開シート(Excel or Calc)は親フォルダーに保存する必要があります

2. ツリー探索の基準(開始)位置を決定

2-1 プログラム起動画面

【プログラムの起動画面】

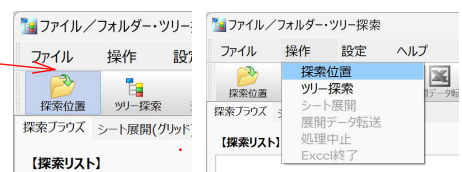
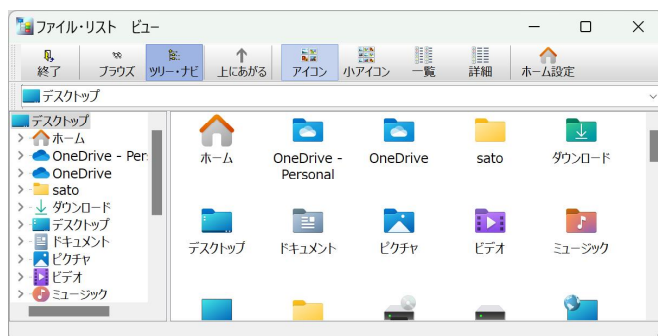


2-2 ファイルリストビューを使って探索位置を決定します

(1) 探索位置をクリックする

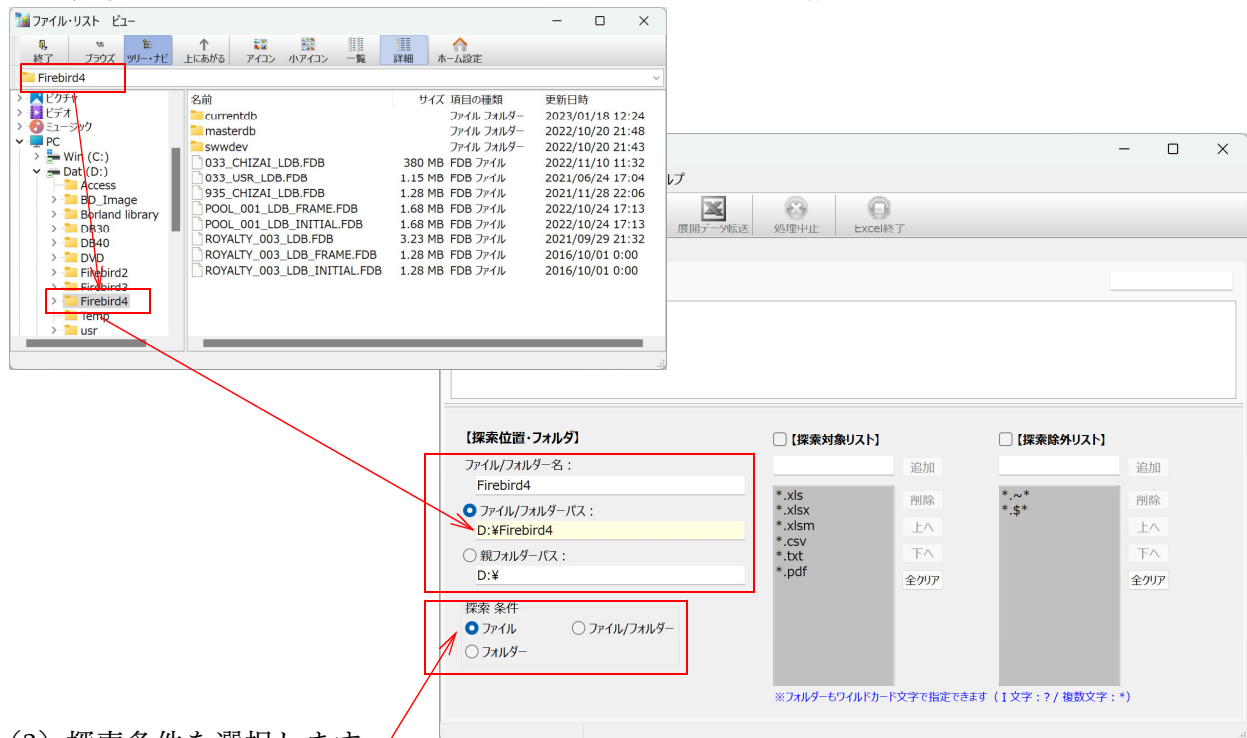
- ・ファイルリストビューが表示する

【ファイル・リスト 探索ビュー】



(2) 探索するフォルダー位置を設定する

→表示したフォルダーがメインウィンドウのフィールドに設定される



(3) 探索条件を選択します

- ・ファイルのツリー
- ・フォルダーのツリー
- ・ファイルとフォルダーのツリー

(4) エクセルやカルクにデータを転送する構造を決定します。

- ・シート展開(グリッド)タブを選択します

(5) 展開条件を選択します

- ・条件の選択後、3. ツリー探索の実行を行います。

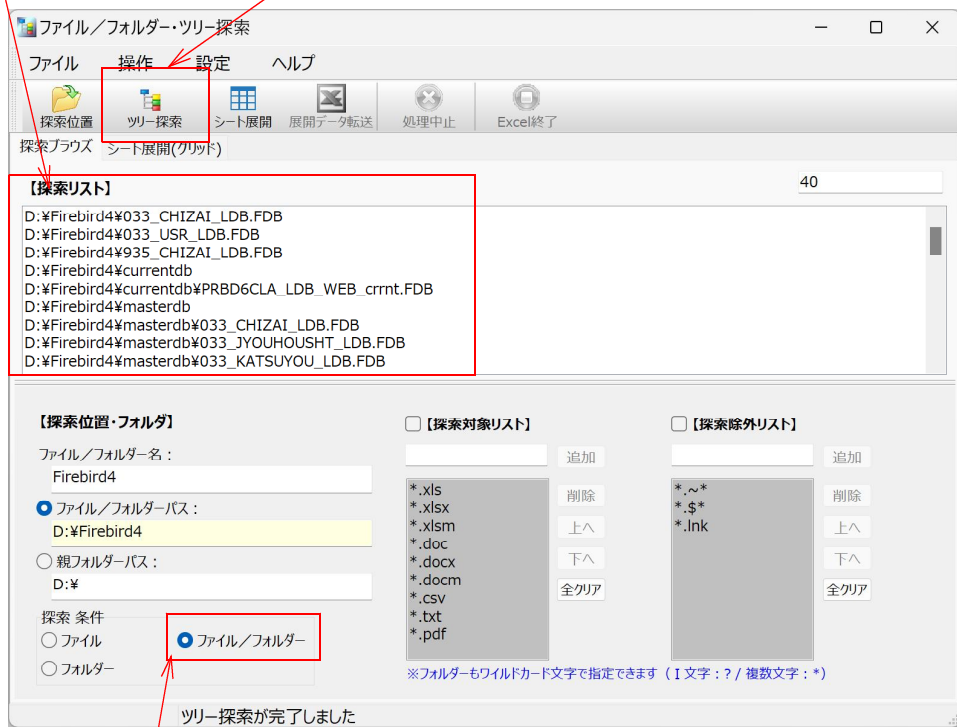


3. ツリー探索の実行

3-1 ツリー探索を実行し探索リストに結果を出力します

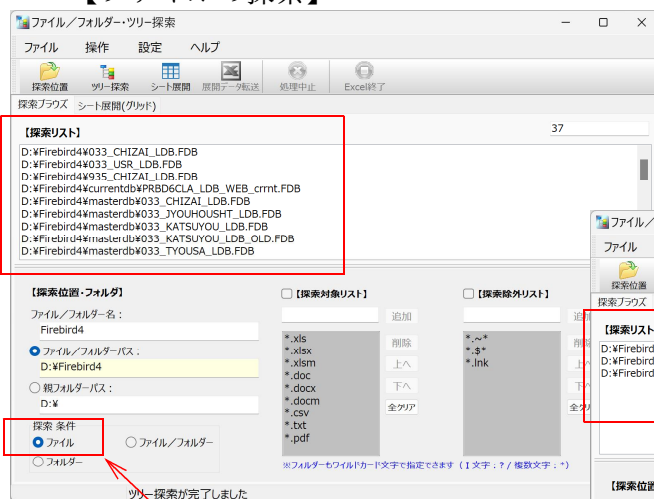
- (1) [ツリー探索]ボタンをクリックする あるいはメニューから選択する
- ・探索リストにリスト表示する

【ファイル/フォルダーの探索】



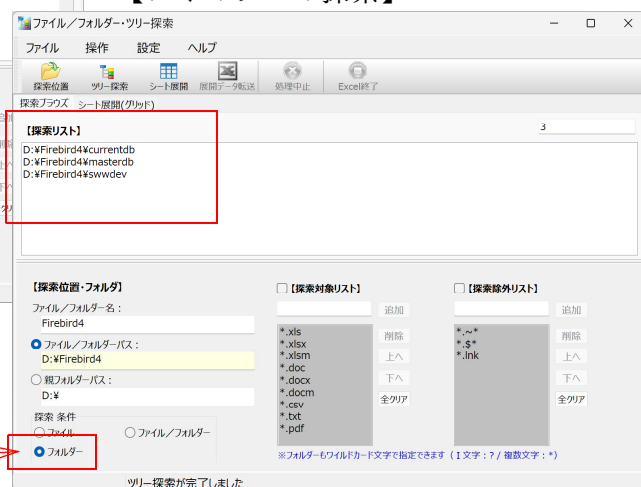
- ・ファイル/フォルダーを選択しておく

【ファイルの探索】



- ・ファイルを選択

【フォルダーの探索】



- ・フォルダを選択

4. シート展開（グリッド表示）を実行する

エクセルやカルクにデータを転送するためにリストデータをグリッド表示に展開する。
展開方法は以下の3つになっています。

- ・全て展開
- ・ツリー展開（枝を表示しない）
- ・ツリー展開（枝を表示）

(1) 展開条件を選択する

- ・ツリー展開（枝を表示）を選択する

【展開条件】

展開 条件

☐ 全てのデータを展開

☐ ツリー展開(重複をブランク)

☒ ツリー展開(枝を表示)

【ツリー展開(枝表示)】

(2) [シート展開]ボタンを クリックする

ファイル/フォルダー・ツリー探索

ファイル 操作 設定 ヘルプ

探索位置 ツリー探索 シート展開 展開データ転送 処理中止 Excel終了

探索ブラウザ シート展開(グリッド)

【展開データ】

s/n	D/F	1st	2nd	3rd	4th
1	F	D:\ Firebird4	033_CHIZAI_LDB.FDB		
2	F		033_USR_LDB.FDB		
3	F		935_CHIZAI_LDB.FDB		
4	D		currentdb		
5	F			PRBD6CLA_LDB_WEB_crmt.FDB	
6	D		masterdb		
7	F			033_CHIZAI_LDB.FDB	
8	F			033_JYOUHOUSHT_LDB.FDB	

【展開条件】

展開 条件

☐ 全てのデータを展開

☐ ツリー展開(重複をブランク)

☒ ツリー展開(枝を表示)

☐ 階層ごとにコピー処理をおこなう

☐ コピー後ファイルのタイムスタンプを合わせる

☐ コピー後ファイルのタイムスタンプ:

2023/04/16 15:28:56

【Excel転送条件】

表出力位置: [列] B [行] 2

表タイトル出力位置: [行] 2

☐ 出力日記入(最終行)

☐ 転送状況表示

☐ 分割シート出力

分割位置: 1st

☐ ハイパーリンク処理

☒ 展開シート

☐ 分割シート

☐ すべて

☐ 相対パスリンク

データ展開が完了しました

【全て展開】

ファイル/フォルダー・ツリー探索

ファイル 操作 設定 ヘルプ

探索位置 ツリー探索 シート展開 展開データ転送 処理中止 Excel終了

探索ブラウザ シート展開(グリッド)

【展開データ】

s/n	D/F	1st	2nd	3rd	4th
1	F	D:\ Firebird4	033_CHIZAI_LDB.FDB		
2	F	D:\ Firebird4	033_USR_LDB.FDB		
3	F	D:\ Firebird4	935_CHIZAI_LDB.FDB		
4	D	D:\ Firebird4	currentdb		
5	F	D:\ Firebird4	currentdb	PRBD6CLA_LDB_WEB_crmt.FDB	
6	D	D:\ Firebird4	masterdb		
7	F	D:\ Firebird4	masterdb	033_CHIZAI_LDB.FDB	
8	F	D:\ Firebird4	masterdb	033_JYOUHOUSHT_LDB.FDB	

【展開条件】

展開 条件

☒ 全てのデータを展開

☐ ツリー展開(重複をブランク)

☐ ツリー展開(枝を表示)

☐ 階層ごとにコピー処理をおこなう

☐ コピー後ファイルのタイムスタンプを合わせる

☐ コピー後ファイルのタイムスタンプ:

2023/04/16 15:28:56

【Excel転送条件】

表出力位置: [列] B [行] 2

表タイトル出力位置: [行] 2

☐ 出力日記入(最終行)

☐ 転送状況表示

☐ 分割シート出力

分割位置: 1st

☐ ハイパーリンク処理

☒ 展開シート

☐ 分割シート

☐ すべて

☐ 相対パスリンク

データ展開が完了しました

【ツリー展開(枝非表示)】

ファイル/フォルダー・ツリー探索

ファイル 操作 設定 ヘルプ

探索位置 ツリー探索 シート展開 展開データ転送 処理中止 Excel終了

探索ブラウザ シート展開(グリッド)

【展開データ】

s/n	D/F	1st	2nd	3rd	4th
1	F	D:\ Firebird4	033_CHIZAI_LDB.FDB		
2	F		033_USR_LDB.FDB		
3	F		935_CHIZAI_LDB.FDB		
4	D		currentdb		
5	F			PRBD6CLA_LDB_WEB_crmt.FDB	
6	D		masterdb		
7	F			033_CHIZAI_LDB.FDB	
8	F			033_JYOUHOUSHT_LDB.FDB	

【展開条件】

展開 条件

☐ 全てのデータを展開

☒ ツリー展開(重複をブランク)

☐ ツリー展開(枝を表示)

☐ 階層ごとにコピー処理をおこなう

☐ コピー後ファイルのタイムスタンプを合わせる

☐ コピー後ファイルのタイムスタンプ:

2023/04/16 15:28:56

【Excel転送条件】

表出力位置: [列] B [行] 2

表タイトル出力位置: [行] 2

☐ 出力日記入(最終行)

☐ 転送状況表示

☐ 分割シート出力

分割位置: 1st

☐ ハイパーリンク処理

☒ 展開シート

☐ 分割シート

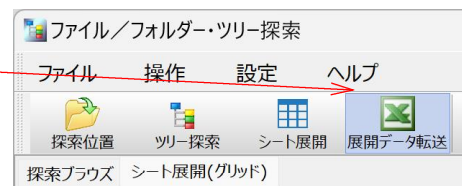
☐ すべて

☐ 相対パスリンク

データ展開が完了しました

5. 展開データを転送する

(1) [展開データ転送]ボタンをクリックする



【Excel 転送結果】

Book1 - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

A1

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		s/n	D/F	1st	2nd	3rd	4th	
3		1	F	D:\Firebird4		033_CHIZAI_LDB.FDB		
4		2	F			033_USR_LDB.FDB		
5		3	F			935_CHIZAI_LDB.FDB		
6		4	D			currentdb		
7		5	F				PRBD6CLA_LDB_WEB_crrnt.FDB	
8		6	D			masterdb		
9		7	F				033_CHIZAI_LDB.FDB	
10		8	F				033_JYOUHOUSHT_LDB.FDB	
11		9	F				033_KATSUYOU_LDB.FDB	
12		10	F				033_KATSUYOU_LDB_OLD.FDB	
13		11	F				033_TYOUSHA_LDB.FDB	
14		12	F				033_USR_LDB.FDB	
15		13	F				EPOKOUHOU002.FDB	
16		14	F				IPDLKOUHOU002.FDB	
17		15	F				IPDLKOUHOU012.FDB	
18		16	F				USPTOKOUHOU001.FDB	
19		17	F			POOL_001_LDB_FRAME.FDB		
20		18	F			POOL_001_LDB_INITIAL.FDB		
21		19	F			ROYALTY_003_LDB.FDB		
22		20	F			ROYALTY_003_LDB_FRAME.FDB		
23		21	F			ROYALTY_003_LDB_INITIAL.FDB		
24		22	D			swwdev		
25		23	F				033_CHIZAI_LDB.FDB	
26		24	F				033_JYOUHOUSHT_LDB.FDB	
27		25	F				033_TYOUSHA_LDB.FDB	
28		26	F				033_USR_LDB.FDB	
29		27	F				935_CHIZAI_LDB.FDB	
30		28	F				EPOKOUHOU002.FDB	
31		29	F				IPDLKOUHOU012.FDB	
32		30	F				POOL_001_LDB_FRAME.FDB	
33		31	F				POOL_001_LDB_INITIAL.FDB	
34		32	F				PRBD6CLA_LDB_WEB_CRRNT.FDB	
35		33	F				ROYALTY_003_LDB.FDB	
36		34	F				ROYALTY_003_LDB_FRAME.FDB	
37		35	F				ROYALTY_003_LDB_INITIAL.FDB	
38		36	F				Semafore	
39		37	F				USPTOKOUHOU001.FDB	
40								
41								

D:\Firebird4

準備完了 表示設定 70%

5-1. フォルダ毎のファイルデータを分割シート出力 【展開データ】

・ 分割位置
3rd 階層

・ フォルダ毎
分割

(1) 分割シート出力にチェックする

(2) 分割位置を決定する

(3) 「展開データ転送」ボタンをクリックする

- 一括データシートに加えてフォルダ毎にシートが作られデータが転送される
【フォルダ毎データシート】

5-2. ハイパーリンクデータ処理

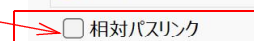
ファイル名、フォルダ名をハイパーリンク表示をすることができます。これによって、ファイルやフォルダが即座にアクセス可能になります。なお、ハイパーリンクは絶対パスの設定と探索基準フォルダーからの相対パス設定が可能になっています。

ファイルパスが変更するような保存ストレージの場合は相対パスをとります。ハイパーリンクを可能にするために探索基準フォルダーに出力結果ファイルを保存する必要があります。

- (1) ハイパーリンク処理をチェックし
処理シート条件を選択します



- (2) 必要に応じて、相対パスリンクをチェックする

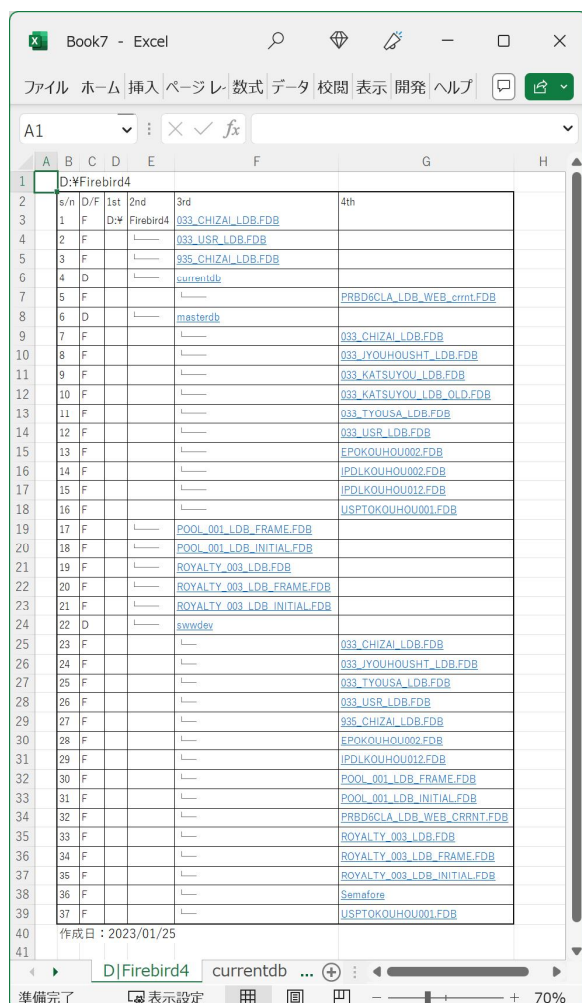


- (3) 「展開データ転送」ボタンをクリックする



- ・ハイパーリンクは下線付きの青色表示になります。

【ハイパーリンク出力結果】



5-3. 表の形式処理

目的に応じて出力表の形式を選択します。現在設定できる項目は以下の4つあります。

- ・表の出力セル位置
- ・表タイトル（フォルダ名）の表示と位置(行のみ)
- ・出力日表示（位置は最下行固定）
- ・データ転送状況の表示（データ転送後に Excel や Calc を表示する）

(1) 設定例

- ・ B 列 2 行目から表を出力する

- ・ 表タイトルを1行目に出力する
列は表の開始位置と同じ
(表タイトルはフォルダ名)

- ・ 出力日の出力をする

- ・ 転送状況は表示しない

【Excel転送条件】

表出力位置： 【列】 B 【行】 2

☒ 表タイトル出力位置 【行】 1

☒ 出力日記入(最終行)

☐ 転送状況表示

【出力結果】

s/n	3rd	4th	FDB
1	masterdb		
2			033_CHIZAI_LDB.FDB
3			033_JYOUHOUSHT_LDB.FDB
4			033_KATSUYOU_LDB.FDB
5			033_KATSUYOU_LDB_OLD.FDB
6			033_TYOUUSA_LDB.FDB
7			033_USR_LDB.FDB
8			EPOKOUHOU002.FDB
9			IPDLKOUHOU002.FDB
10			IPDLKOUHOU012.FDB
11			USPTOKOUHOU001.FDB

作成日: 2023/01/25

6. 階層コピー機能

展開したツリーを階層ごとに他のストレージ（メディア）にコピーする機能を持ちます。

- ・ 1 階層のフォルダーのみのコピー
 - ・ フィルタリングした探索ファイルのみのコピー
 - ・ タイムスタンプをコピー元と同一にすコピー
- など、さまざまなモードでコピーが可能になります。

(1) 階層ごとにコピー処理をおこなうにチェックします

(2) ツリー探索を実行します

(3) コピーしたい階層の列位置(見出し行)をクリックします

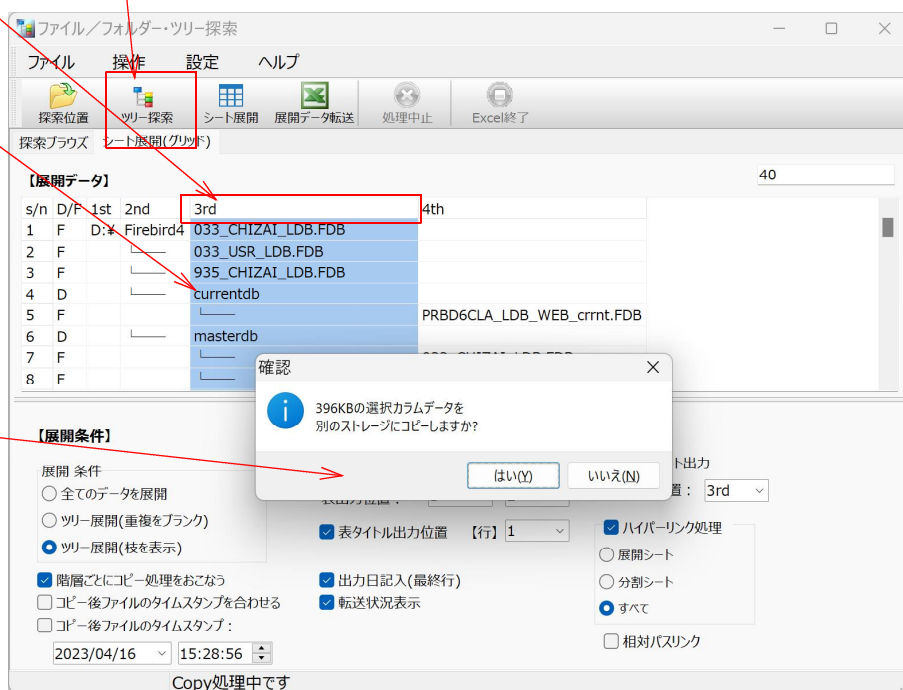
・ 選択表示します

・ 確認ダイアログが表示します

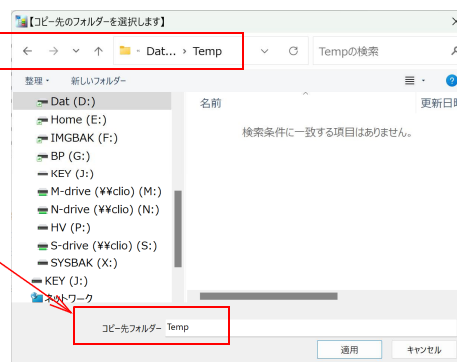
【展開条件】

展開 条件

- ☐ 全てのデータを展開
- ☐ ツリー展開(重複をブランク)
- ☒ ツリー展開(枝を表示)
- ☒ 階層ごとにコピー処理をおこなう
- ☐ コピー後ファイルのタイムスタンプを合わせる



(4) コピー先フォルダーを選択し
コピーを実行します



6-1. 階層コピーオプション(日時指定)

コピー後のファイルの日は、通常、コピーした日時になります。これを以下の設定が可能になります。

- ・元のファイルの日時にあわせる
- ・任意の日時にする
- ・コピー後のファイルをコピー前のファイル日時にあわせるとき
チェックを入れる。

【展開条件】

展開 条件

☐ 全てのデータを展開

☐ ツリー展開(重複をブランク)

☒ ツリー展開(枝を表示)

☒ 階層ごとにコピー処理をおこなう

☒ コピー後ファイルのタイムスタンプを合わせる

☐ コピー後ファイルのタイムスタンプ :

2023/04/02 17:35:10

- ・コピー後のファイルの日時を指定するとき
チェックを入れ日時を設定する。

【展開条件】

展開 条件

☐ 全てのデータを展開

☐ ツリー展開(重複をブランク)

☒ ツリー展開(枝を表示)

☒ 階層ごとにコピー処理をおこなう

☐ コピー後ファイルのタイムスタンプを合わせる

☒ コピー後ファイルのタイムスタンプ :

2023/04/02 19:00:00